ある事例に学ぶ!

視察日 10月21日から23日

教育民生常任委員会

【視察地】
1．鹿児島県志布志市
2．鹿児島県大崎町
3．鹿児島県鹿屋市

【視察の目的】
・幼児教育の特色ある事例を調査し、教育行政の進展にいかす。
・ごみ問題の先進事例を学習し、これからの政策づくりに役立てる。
・地域再生をはたした集落を視察し、大山町での地域活性化につなげる。

	ヨコミネ式教育法
鹿児島県	
志布志市	しぶし

通山保育園の理事長、横峯吉文氏の強力な信念と指導力、シンプルでありながら独特な考え方を職員一同よく理解し、指導している。

できない子、ダメな子は一人もいないという考え方のもと、子どもが本来持っている「力」を引き出すだけで、指導者が教えるわけでもなければ、特訓もしていない。

少し難しいことへの挑戦と、子どもの競争心で、やる気のスイッチが入る環境をつくることが大切であるとしている。

特に毎日8時30分から全員で行われる50メートル走では、順位をつけ、またハンディをつけて走りに変化をつけて、30分間走り込んでいる。

子どもたちはいきいきと成果をあげ、その姿が保護者との信頼関係を築く土台になっている。

また、すべての子に基礎的な力を付けて学校に送るという方針。現在、市の委託を受けて学童保育も行っているが、小学校との正式な連携が課題である。